

インナーハウスプレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナル名（フリガナ）
フリガナ) カナガワダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) ユキモトゼミナル
神奈川大学	経営学部	行本ゼミナル

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) フェアトレードハン	フリガナ) ホンマキヨウヘイ		
フェアトレード班	本間恭平	4人	無

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）

レザーポインター

研究テーマ（発表タイトル）

フェアトレードギフト

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

生産者の人権や労働環境を守るためにできた公正な価格での取引、それがフェアトレードである。この公正な取引によって作られた商品を購入することにより、発展途上国にいる生産者に対して正当な価格の賃金が行き渡り、生産者の生活水準を向上させることが出来るといえる。しかし、日本ではフェアトレードの認知度が低く、日本国内でのフェアトレードの認知度は 16%と世界的に見ても認知度の低さが目立つ。また、フェアトレード商品の国民一人当たりの国別年間売上高（2011 年調べ わかちあいプロジェクトより）を見てみると、最も高い国がアイルランドの 3945 円なのに対し、日本は 17 円という世界的に見ても大変低い結果となっている。そこで、日本でのフェアトレードの認知度を上げ、商品を購入してもらうことが私たちの目的である。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

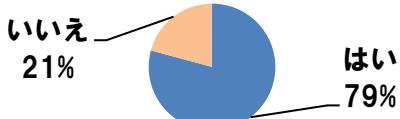
フェアトレード商品を購入することで、発展途上国にいる生産者の労働環境や労働者的人権を守ることができる。しかし公正な取引を行う上に、ひとつひとつの品質が高いため、従来の商品と比べると価格が高くなってしまう。これらを日常的に購入することは難しいのではないだろうか。しかし、この欠点を補う手段がフェアトレード商品のギフトというポジショニングである。ギフトであれば高

価格という点も目立たなくなる上に、高品質なためフェアトレード商品はギフトに最適なのである。

3. 研究テーマの課題

近年、消費者はギフトに対して求める3つの要素（高価格・高品質・独自の付加価値）が存在する。フェアトレード商品では、品質の管理を徹底し高品質であるがゆえに値段もそれ相応に伴っている。また生産者・購入者（プレゼントを贈る側）・受け取る側の3者に対してそれぞれWINがあり、フェアトレードギフトには3つのWINが存在する。私たちが行ったアンケートによると、これらのストーリー性があると知ったうえでフェアトレード商品を誰かに贈りたいと思うかというものに対し、8割近い人が贈りたいと答えた。つまりこの結果からフェアトレード商品はギフトに最適だということがいえる。しかし、ギフトに最適なのにも関わらず認知されていないというのが課題である。

ストーリー性があると知った上で
誰かに贈りたいと思いますか



アンケート実施日：9月14日～22日

調査対象：20代～50代の男女 107人

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

日本のギフト市場を調べたところ、現在お歳暮とお中元が高い割合を示している。その中でも、実際にお歳暮とお中元を贈る世代を調べたところ、40代後半から60代の女性が多いということが分かった。40代後半から60代にかけての身近にいる女性、つまり大学生の母親世代が多く贈っているといえる。そこで私たちは母の日を利用して、その世代の人々にフェアトレードをギフトとして認知してもらうということを考えた。段階としては、母の日にフェアトレード商品をプレゼントしてもらい、お母さん世代にも認知してもらう。そこからお歳暮・お中元への広がりを狙う。そのためまずは、第一段階のアプローチとして大学生をターゲットにし、フェアトレードギフトの存在を認知してもらう。具体的な認知方法としては、大学校内にフェアトレード商品を設置し、購入できる環境をつくる。普段はチョコレートやキャンディーなどの購入しやすい、手に取りやすい商品を設置し、フェアトレード商品の品質などを知ってもらう。そして母の日のイベント近辺で雑貨品などギフトに適した商品を設置する。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

具体的な活動内容としては4つある。1つ目は現地訪問である。私たちはタイの少数山岳民族の伝統技術の刺繡や織りの技術をいかした商品を中心に取り扱っているフェアトレード専門店（LOFTY BOMBOOさん）に訪問した。2つ目は、アンケートの実施である。アンケートは107名の20代～50代の男女にアンケートを実施した。内容は、「フェアトレード商品のストーリー性があると知った上で誰かに贈りたいと思いますか」というフェアトレード商品のギフト化の可能性を調査するためのアンケートである。3つ目は神奈川大学独自の制度である学生チャレンジプロジェクトへの申請である。学生チャレンジプロジェクトとは学校から資金の支援をもらい学生自身が企画をたてて活動する。4つ目は大学校内でのフェアトレード商品を販売する場合、テレビに取り上げる価値があるのかということを、SCN 湘南ケーブルネットワーク様に相談をし、価値は十分にあるという意見を頂いた。

6. 結果や今後の取り組み

- ・お歳暮、お中元におけるフェアトレードギフトというカテゴリー化の確立
- ・神奈川大学独自の制度である学生チャレンジプロジェクトの活動許可を得て、大学校内でフェアトレード商品を販売できる環境づくりを行う。これによって大学生がフェアトレード商品を認知し、フェアトレード商品を理解したうえでの購入を目指す。

- ・湘南ケーブルネットワークへの協力相談.

7. 参考文献

- ・フェアトレード・ラベル・ジャパン

<http://www.fairtrade-jp.org/>

- ・矢野経済研究所

<https://www.yano.co.jp/>

- ・MADE IN EARTH

<http://www.made-in-earth.co.jp/organic-cotton/condition/>

- ・わかちあいプロジェクト

<http://www.wakachiai.com/clothes/>

- ・生活者潮流

http://www.dnp.co.jp/cio/trend/article/10134880_19464.html

- ・フェアトレード・フォーラム・ジャパン

<https://www.fairtrade-forum-japan.com/>

- ・Lofty Bomboo

<https://www.loftybamboo.com/>

- ・アンケート調査「マクロミル」

<https://www.macromill.com/>

- ・論文サイト cinii

<http://ci.nii.ac.jp/en>

- ・ACE

<http://acejapan.org/childlabour/report/fairtrade>

- ・peace winds JAPAN

<http://peace-winds.org/fairtrade/>

- ・AEON

https://www.aeon.info/environment/social/fair_trade/

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナーハウス・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナーハウス・プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください